

平成29年 2月 定例県議会

自民党香川県政会
代表質問から抜粋

2月定例議会は3月21日、33日間の会期を終えました。一年で最も重要視される「予算議会」です。新年度当初予算案は人口減少対策や地域活力向上を柱とする現県政の方向性をより鮮明にしたものでした。さらに他議案も含め計41議案、議員発議案は10議案可決・同意し、閉会の運びになりました。

●県内外から多くの方々に参加していた。多くのために、開催機運を高めて行く。

全国育樹祭を契機に

問…本年11月19日に「第41回全国育樹祭」が本県で開催されます。皇族殿下によるお手入れや、おことば、表彰などの式典行事、加えて魅力あるアトラクションなどで、香川らしい特色のある全国育樹祭にしなければなりません。

答…(知事) 現在開催準備を進めていますが、本県発祥の「どんぐり銀行」活動をはじめとした県民総参加の森づくりを契機に、県民総参加の森づくりの一層の推進を図ることが重要です。

平成29年秋季 香川県

第41回

全国育樹祭

森と育てる豊が暮らし 森が育む確かな未来



信し、県出身者による「みどり」と共存してきた香川の暮らしや文化」を表現するアトラクションを考えています。

開催機運の盛り上げに關しては、カウンタダウンボードの設置、シンボルマーク「みどりひろ丸」をマスコットにしPRキャラバンを組み、各種イベントなどで積極的に情報発信をして行きます。

本県が目指している日本一充実した「みどり」とともに暮らす社会の実現につながる意義深い全国育樹祭になるよう、全力で取り組めます。

●優れた県産品を、県内・県外はもちろん海外へもアピール。

一層の認知度向上と販路開拓へ取り組む



問…優れた県産品の振興のため、産地間競争の激化の中でも他自治体よりも一歩でも先んじて取り組む必要がある。産地間の動向も踏まえ、消費者ニーズ・トレンドを十分に把握し、本県及び県産品の一層の認知度向上及び販路開拓に積極的に取り組まなければなりません。

答…(知事) 県では県産品の振興に取り組んでおり、国内販売額ではここ4年間で3.3倍あまり、海外においては8倍あまりに伸びています。今年度、国内では県産品をマスコミに直接PRし認知度向上を図り、新規販路開拓・情報発信を行い、今後一般消費者向けにカタログギフトを製作し新たな拡販に取り組めます。海外では、新たな国々への販路開拓に取り組む必要があると考えています。